

大島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	海事英語
科目基礎情報						
科目番号	0113		科目区分		専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科	商船学科		対象学年		4	
開設期	前期		週時間数		2	
教科書/教材	自作教科書					
担当教員	杉本 昌弘					
到達目標						
1. 主要な機関および海事用語が理解できる。 2. 海事をテーマとした英文を読み、その概要を理解すると共に必要な情報収集ができる。 3. 海事をテーマとした英文を聞き、その概要を理解すると共に必要な情報収集ができる。 4. 物事の描写を英語で行うために、必要な構文を用いて適切な文章を書くことができる。 5. 機関操作の場面に応じて、適切なフレーズを用いた会話ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	主要な機関および海事用語が理解できる。		主要な機関および海事用語がほぼ理解できる。		主要な機関および海事用語が理解できない。	
評価項目2	海事をテーマとした英文を読み、その概要を理解すると共に必要な情報収集ができる。		海事をテーマとした英文を読み、その概要をほぼ理解すると共に必要な情報収集がほぼできる。		海事をテーマとした英文を読み、その概要を理解し、必要な情報を収集することができない。	
評価項目3	海事をテーマとした英文を聞き、その概要を理解すると共に必要な情報収集ができる。		海事をテーマとした英文を聞き、その概要をほぼ理解すると共に必要な情報収集がほぼできる。		海事をテーマとした英文を聞き、その概要を理解し、必要な情報を収集することができない。	
評価項目4	物事の描写を英語で行うために、必要な構文を用いて適切な文章を書くことができる。		物事の描写を英語で行うために、必要な構文を用いて適切な文章を書くことができる。		物事の描写を英語で行うために、必要な構文を用いて適切な文章を書くことができない。	
評価項目5	機関操作の場面に応じて、適切なフレーズを用いた会話ができる。		機関操作の場面に応じて、適切なフレーズを用いた会話ができる。		機関操作の場面に応じて、適切なフレーズを用いた会話ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
本校 (1)-a 商船 (2)-c						
教育方法等						
概要	船舶機関あるいは海事一般をテーマとし、海事用語語彙力ならびに英語4スキル（reading, listening, writing, speaking）を向上させるための演習を行う。					
授業の進め方・方法	授業は、演習中心で行う。 Readingおよびlisteningについては、特定情報入手のための演習を行う。 Writingにおいては、センテンスレベルの記述演習を行う。 Speakingにおいては、機関部における会話演習を行う。					
注意点	配布教材および英語辞書の持参を受講条件とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業概要、語彙テスト		授業開始時点における自分の海事語彙能力を確認できる。	
		2週	海事語彙		海事用語の分類、略語について理解できる。	
		3週	はじめての船上英会話「主機運転準備」		機関運転に関する英文から必要な情報を入手することができる。	
		4週	はじめての船上英会話「主機の増減速」		機関運転に関する英文から必要な情報を入手することができる。	
		5週	はじめての船上英会話「運転状態の監視」		機関運転に関する英文から必要な情報を入手することができる。	
		6週	海事用語の定義		設備を表す用語および用語定義の方法が理解できる。	
		7週	海事用語の定義		船上設備などを、それらの役割から定義できる。	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	海事用語の定義		船上設備などを、それらの役割から定義できる。	
		10週	海事用語の定義		船上設備などを、それらの役割から定義できる。	
		11週	海事用語の定義		船上設備などを、それらの役割から定義できる。	
		12週	Pirates		海事に関する英文から必要な情報を入手することができる。	
		13週	Pirates		海事に関する英文から必要な情報を入手することができる。	
		14週	International Shipping		海事に関する英文から必要な情報を入手することができる。	
		15週	Types of Ships		海事に関する英文から必要な情報を入手することができる。	
		16週	前期末試験			
評価割合						
	試験	レポート	授業態度	出席状況	合計	
総合評価割合	60	10	20	10	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	
専門的能力	60	10	20	10	100	

分野横断的能力	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---